上田市教育委員会 9月定例会会議録

1 日 時

令和元年9月25日(水) 午後3時00分から午後3時22分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	平 田 利 江 子
委 員	横 関 妙 子
委 員	綿 谷 憲 一

説 明 員

中澤教育次長、池田教育参事、石井教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、宮越武石地域教育事務所長、武捨第二学校給食センター所長、上原川西公民館長、柳原上田情報ライブラリー館長、

1 あいさつ

令和元年度、いよいよ10月から後半に向かい、各所属は年度当初の計画を充実させていく時期になると思う。そのことについて、教育委員さんからご指導をいただきながら事業を進めていきたい。

2 協議事項 なし

3 報告事項

(1)「青少年育成市民の集い」開催について(中央公民館)

資料1により小泉中央公民館長説明(要旨)

中央公民館では、子育て世代や、子どもたちを地域で見守っていただく方々を対象とし、青少年が健全で生き生きと成長するためのアドバイスや、青少年に向けた地域づくりのヒント等の目標として講演会を毎年開催している。参加対象となる地域は、中央公民館の担当地区である中央市街地や神川地区となっているが、どなたでも参加できる講演会としているため、市内全域に参加の呼びかけを行っている。

平成元年に、第1回目の講演会を行って以来、今年で31回目を数え、毎回各分野からさまざまな経歴の方を講師としてお招きしている。本年は、上田市出身で元宝塚歌劇団の娘役トップスターであり、上田市の観光大使を務めていらっしゃる月影瞳さんにご講演をいただくこととなった。開催日は、10月30日(水)午後1時から、参加費は無料となっている。講演内容は、月影さんが努力を積み重ねた結果、幼少期からの夢を叶えられたご自身の成功体験をもとに、青少年たちは自分たちの夢を叶えるためにはどのようにしたら良いか、ヒントをいただく講演の内容である。ピアノの演奏者もお迎えして、途中、歌などもご披露していただく予定である。ぜひご参加いただきたい。

峯村教育長

ご質問等あればお願いしたい。

綿谷委員

参加費は無料となっているが、この月影瞳さんをお呼びするにはいくらぐらいかかっているのか。

小泉中央公民館館長

本来はかなりの高額であるが、今回の公演については月影さんの方からご講演の申し出があった。講師謝金として10万円をお願いしている。

全員了承

峯村教育長

それでは、(2)から(6)まではご説明はないが、資料をご覧くださいご質問があればお願いしたい。

横関委員

公民館だよりについて。城南公民館の館長は、本日出席されていないところでの意見だが、夏休み中の子ども達に向け、たくさんの取組みを公民館で積極的に行われていた。「夏休み子どもチャレンジひろば」がテレビ等で報道されるなど、とても良い取組みだと思う。そのことについての感想や今後の課題をお伺いしたい。これからの未来を担う子どもたちのために、公民館活動として、子どもたちにどのようなことをしていくかを考えていただければ、私たち教育委員としても喜ばしいことだと思う。

峯村教育長

小泉中央公民館長、次回に今の質問に対する回答をご用意いただきたい。

小泉中央公民館長

横関委員からいただいたご質問について、館長会等で委員さんの要望に沿うようなご回答をさせていただきたいと思う。

峯村教育長

各学校の夏休みの期間は長くなっている。夏休みの期間については今後検討するにしても、受け皿の諸行事については充実の方向でご検討いただきたい。他にはいかがか。よろしいか。

全員了承

(2) 寄附の状況 (学校教育課) 【説明なし】

資料 2

(3) 行事共催等申請状況について (学校教育課 生涯学習・文化財課 スポーツ推進課)

資料 3 - 1 3 - 2 3 - 3 【説明なし】

(4) スポーツ関係市長表敬訪問状況について (スポーツ推進課) 【説明なし】

資料 4

(5) 公民館だより (各公民館) 【説明なし】

資料 5 - 1

(6) 「コミュニティスクール講演会」開催について (生涯学習・文化財課) 【説明なし】

資料 5 - 2

4 その他

(1) 上田情報ライブラリーの活動について (上田情報ライブラリー)

峯村教育長

毎月、交代で出席している所属長から自分の所属の計画と事業の紹介をすることになっている。また、課題についても報告をさせていただいている。今回は、上田情報ライブラリーから図書館の活動について紹介していただく。

資料 6 により柳原上田情報ライブラリー館長説明 (要旨)

上田情報ライブラリーは、平成16年4月に開館し、今年で15年周年になる。「駅前図書館」という呼称で便利な立地を活用し、ビジネスマンや学生が、仕事や学校帰りに気軽に立ち寄れる場所として利用していただいている。平成30年度の貸出し数は約79,000冊で、約700人の方が新規に登録していただいた。今年度は特にワイナリーがオープンすることから、ワインの銘柄や醸造、ワインに合うチーズに関する書籍や、「兄消える」の上映にあわせ、上田市が舞台の作品や撮影された作品、「青天の霹靂」、「うさぎ追いし」等の書籍、ビジネステーマコーナーでは、最近注目を集めているAIに関する書籍を特設ブースに展示するなど、来館者の興味を引く展示に努めている。また、DVDなどの視聴覚資料の館内での鑑賞や貸出、館内のパソコンやご自分で持ち込んだパソコンでデータを作成、印刷できるなど市民サービスにも努めている。事業においては、設置のコンセプトである「暮らしとビジネス支援」及び「千曲川地域文化の創造と発信」の実現のために、NPO法人や各種団体等、上田女子短大のサークル、東信教育事務所さん等と協働して講座や催し等の充実を図っている。

令和元年度の事業としては、情報ライブラリー主催の講座として、(1)歴史と地理の講座旅路をたどる 今昔物語 全7回、(2)キャリアアップ関連講座「こころ」と頭の実用セミナー全12回、(3)フラワーアレンジメント講座全3回、(4)夏休みの自由研究応援セミナー等を行っている。また、フラワーアレンジメント講座においては、ラクビーワールドカップで、菅平高原でキャンプを行ったイタリア代表チームカラーの「青」を基調とした花に関する講座を8月10日に行い、親子で約15人の方に参加していただいた。

続いて、市民団体との共催事業は、(1)文学講座全8回、(2)女性のための健康ヨガ教室 おおむね月2回、(3)将棋講座と将棋大会1回、(4)ネット&カフェ in ライブラリー全21回、(5)ことばの繭ホール文化事業、(6)絵本に関する事業等を行っている。(2)女性のための健康ヨガ教室は、年2回は市の健康運動指導士による健康講話を行っていて、今年は10月に行う予定だが、これは健康づくりチャレンジポイント制度の対象にもなっている。また、(5)ことばの繭ホール文化事業については、ライブラリーの入口の左側にある繭ホールでは、コンサートや演奏、落語会、朗読等を行っている。

次に、市民団体への委託事業として、(1)子ども民話語り手養成講座全22回、(2)情報リテラシー支援をおおむね月9回行っている。情報リテラシーについては、上田図書館クラブさんに委託しているが、データベース・web検索、パソコン操作の個別支援を行い、主に自治体の通知等作成に訪れる方が多いようである。

市民団体との協働事業については、図書リサイクル事業を行っていて、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市図書館の復興支援として、市民のリサイクル本の寄付用ボックスを館内に設置して、寄付された本は市民団体を通じ古本業者で売ってもらい、その売上金を寄附している。平成28年2月から行っていて、9月16日現在は6,241冊、10万2,567円の寄付に達している。

最後に貴重資料室の整備については、日本年金機構に貸していた部屋を「貴重資料室」として、書架を設置し、寄贈いただいた資料の展示を行っている。今年度書架の設置が完了し、皆さんにご覧いただけるよう進めている。図書館はいろいろな方々が朝から来館されている。本の貸出し以外にも講座や催し物、学生の学習の場としても利用されている。市民ホールでは、簡単な打合せ等を行っている方もいる。これからも来館者の多様なニーズに応えて、情報や文化の拠点としていくことが大切なことと考えている。

峯村教育長

ただ今、情報ライブラリーの説明があった。ご質問、ご意見、ご要望等あればお願いしたい。

北沢委員

2つ質問したいが、1つは、丸子図書館や上田図書館等、他の図書館との違いは。活動内容をご紹介いただいたが、特に位置付けが違うのかどうか。中でも上田情報ライブラリーとして特徴的な活動としてメインになるものがあるのかどうか。2つめは、今、新庁舎を建設中であるが、庁舎が完成しても、ライブラリーは「駅前の図書館」ということで継続していくのかどうかを教えてください。

柳原上田情報ライブラリー館長

まず、1つめの他の図書館との違いや位置付けについては、上田情報ライブラリーは開館当初から先進的な千曲川地域の文化の創造と発信、暮らしとビジネス支援といったコンセプトに基づいて、千曲川地域の資料やビジネスに関する本等を充実させている。また、ホールや喫茶店もあることから、図書館以外の目的として利用される方もいらっしゃる。講座についても、毎月1回、千曲川地域文化に関する歴史と地理の講座を行っているなど、他の図書館と比べて講座が多いことなどに違いがある。2つめのご質問の新庁舎に関することだが、上田図書館の方がだいぶ古くなっていて、こちらの方が今後どのようにするかに関連で、情報ライブラリーだけのことで考えにくいことである。

北沢委員

要望として、新しい上田図書館の構想は5年ほど前から話が出ているが、いっこうに形になっていかない。もし、その図書館が完成したとしても、現在の形で上田情報ライブラリーを残していただければ大変ありがたい。個人的にも今まで利用してきたのでお願いしたい。

峯村教育長

今、日本各地で駅前、駅の中にあるなど、昔の図書館という感覚では考えられないような多様な図書館が生まれている。またそのような点についてもご留意をいただいて、運営していただければと思う。今の北沢委員の意見はそういう内容だと思う。他にはいかがか。

平田委員

さまざまな取組みをしていただき、ありがたいと思う。情報ライブラリーとしての現在の課題と今後の新たな活動について伺いたい。

柳原上田情報ライブラリー館長

開館してから15年になり、開館当時の千曲川地域文化やビジネス支援のコンセプトで行ってきたが、時代が変わってきて、ビジネス支援等については本年度の活動としてキャリアアップ関連講座を行っていることと、これはビジネス支援というのか分からないが、自分でつくった履歴書を印刷するサービスを行うことがいちばん今ビジネス支援ということで行っているぐらいで、なかなかコンセプトに基づいた活動ができない。講座を行ってもマンネリ化しており、毎年同じ方がくるといようなところである。毎日、開館と同時にくる方、新聞を見たり寝ていたり、DVDを観たりと1日同じ方が過ごしているような状況がある。上田情報ライブラリーに限られたことではないが、そういう方々が主体的に何かに参加していただけるようなことを、公民館の事業と同じように協力して生涯学習教育を行うなど、もう少し充実させていきたいと思っている。

平田委員

講座もたくさん開催していただいているが、参加される方が固定化してしまうことがある。前例踏襲にならないようお願いしたい。現在の課題をお伺いしたので、また一歩先を考えていただければと思う。

横関委員

図書館のあり方を地域全体で考えていく必要がある。やはり、駅前にあるということで立地が良い。今、そしてこれからは交通手段の確保ということが課題になると思う。その中で行ける場所がある、学べる場所があることはとても重要だと思う。居場所として図書館があるとしても、そこでさまざまな本を読むという生涯学習から考えても自己実現ができる場所になると思う。図書館というものがどうあるべきかを今一度考え、またコンセプトも再度考え、街の人たちと一緒に新しい図書館ができると良いと思う。

峯村教育長

それでは以上で定例会を終了する。

全員了承

閉 会

教育委員会会議規則第 21 条の規定により署名する。